

鈴鹿 de はたらこっ! プロジェクト



＼地元就職＼を「チーム鈴鹿」が支えます

高等学校卒業後に進学や就労によって、市外・県外に流出する若年者が増え、本市の生産年齢人口が減少しています。また、地元企業よりも大手企業への就職を考える若年者が増えています。

本市は、4月に「鈴鹿市総合計画2031」をスタートし、「市内に雇用の方が確保され、安心していきいきと働くことができる環境が整っている」ことを目標の一つに掲げて、「#最高に住みやすいまち鈴鹿」の実現を目指しています。

このたび、その取り組みのメインとして、地元企業、市内高等学校と高等教育機関、ハローワーク

鈴鹿、鈴鹿商工会議所と本市が連携し、「チーム鈴鹿」として雇用促進事業の企画・立案・実施に取り組む「鈴鹿deはたらこっ!プロジェクト」を創設しました。

■生産年齢人口(15～64歳の人口)の推移



プロジェクトが目指す未来の鈴鹿

本市の地域産業の担い手を確保するため、年齢や性別、ライフステージに関わりなく、全ての求職者に市内企業の魅力を伝え、両者がマッチングする機会を増やすために本プロジェクトではさまざまなことに取り組んでいます。

若年層を中心に生産年齢人口が増えると、地域が豊か

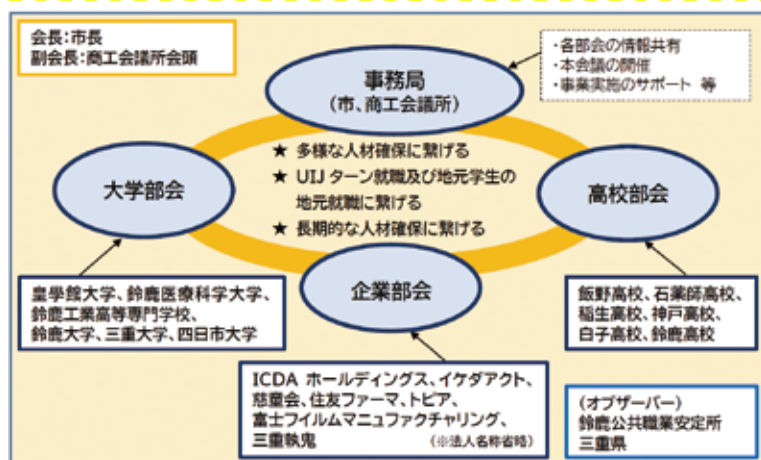
になり、さらには、企業の成長や経済の活性化につながります。地域と経済が好循環し、税収が増え、子育てや介護・医療をはじめとするさまざまなサービスの提供が可能になることは、最高に住みやすいまちの実現につながります。



For a Future Full of Smiles© Let's co-create the Most Livable City, SUZUKA!

プロジェクトで作り出す！地元就職のチャンス

鈴鹿市雇用促進連携協議会



【鈴鹿市雇用促進連携協議会の構成図】

合同企業説明会inすずか（毎年3月開催）

令和5年度の実績

参加者	参加企業	内定者 (R6.8現在)
156人	38社	11人

次回は令和7年3月開催！ぜひご参加ください！

気軽に！

企業担当者やキャリアコンサルタントが親身になって相談に乗ってくれる。

知れろ！

さまざまな業種の地元企業が参加し、良いところを知ることが出来る。

対象者が幅広い！

年齢や国籍を問わない求人企業が参加



就職したが思っていた仕事ではなかったなど、働くことへの価値観の違いが生じると、働き続けることが難しくなります。

働く人と企業との間にズレがないようにするため、学生の声、企業の手を雇用促進連携協議会でしっかり情報共有し、地元での継続的な雇用につなげます。

鈴鹿商工会議所 副会頭 松島 康博 さん

高校生のインターンシップ

高校生を対象に市内企業で実施した職業体験。参加した高校生と企業担当者の声を紹介します。



白鳩保育園



marl.



ストーリーホテル



AGF鈴鹿



伊勢鉄道

©Pokémon/Nintendo/CR/GF

参加した高校生の声

- ・人との関わり、感謝されることのうれしさを体験できました。
- ・人と関わる仕事は、責任を持った行動が大切だと実感しました。
- ・仕事の大変さを感じるとともに改めて将来について考えようと思いました。

企業担当者の声

- ・職業体験で高校生に「自社の魅力」を正しく伝え、就職のミスマッチを防ぐことで、若手社員の採用と継続的な雇用につながると思います。
- ・学生の皆さんと交流を持つことで、新たな発見や気づきを得ることができました。
- ・体験してもらうことで、今後の進路の選択肢が増えれば良いと思います。

CHECK

職業体験は、働くことへの理解を深めるとともに、自分自身の将来や、仕事への適性について考えるきっかけになります。多くの方が、希望する職場へ就職できるよう継続して取り組みます。

鈴鹿を選んだ働く皆さんに聞いてみた

Uターン

鈴鹿→東京を経て再び鈴鹿へ



わたなべ しずよ
渡邊 静代 さん
文化会館勤務

■どんな仕事？

文化会館の各種イベント企画や運営などを担当しています。今年7月に文化会館リニューアルイベントが催され、スタッフがー丸となって運営を行いました。

■鈴鹿で働くきっかけは？

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに地方移転を検討した結果、生まれ育ったまち「鈴鹿」に戻ることを決意しました。現在は空き家になった実家を、自分の手でリノベーションして住んでいます。

■地元で働くメリットはどんなこと？

古くからの友人に会えることです。Uターン就職を決意した際、不安もありましたが、地元の友人があたたかく迎えてくれました。最近では、小学生時代の同級生と同窓会をするなど、友人とのつながりを大事にしています。

■鈴鹿の良いと思うところは？

近所で海が見られるところです。初日の出の光景は感慨深いものがあります。地元の人もあたたかく、とても住みやすいまちだと思います。

Iターン

茨城→栃木→東京を経て鈴鹿へ



ひらつか くるみ
平塚 薫美 さん
ホンダモビリティランド勤務

■どんな仕事？

採用担当として、新卒・中途採用のほか、ダイバーシティ推進、研修業務などのサポートをしています。

■鈴鹿で働くきっかけは？

高校を卒業後、モビリティリゾートもてぎに就職。学びたいことがあり、一度退職して上京しましたが、今後のキャリアを考え、「また、ホンダモビリティランドで働きたい」と思い、再度就職し、本社である鈴鹿サーキットに配属されました。

■鈴鹿に住んでみて感じたことは？

何より人があたたかい。お買い物の会計の際、ほとんどのお客様が店舗スタッフの方に「ありがとう」と言葉で伝えてくれます。私自身、会釈だけのことが多かったのですが、しっかり言葉で伝えるようになりました。

また市内のバンドサークルに所属しており、プライベートも充実しています！



UIターンを応援 就職フェア IN TOKYO

本市には魅力あふれる企業がたくさんあります。UIターン就職に興味のある方に、本市の企業を知っていただくため就職フェアを開催します。参加者特典もありますので、家族や友人などで対象となる方がみえましたら、ぜひお声掛けください。

■と き

令和6年11月9日(土) 13時～16時

■会 場 三重テラス(東京都中央区)

■対 象 鈴鹿市で就職・転職 または 移住を検討している方

※出展企業など、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

就職フェア
IN TOKYO



首都圏在住で、
鈴鹿で働きたい人
必見！

Uターンは都市部へ移住した後、故郷に戻ることに。Iターンは出身地とは別の地方に移住すること。
Jターンは地方から都市部へ移住し就職した後、故郷のほど近いところに戻ることをいいます。
UIJターンをして、本市で働く3人の方に話を聞いてみました。

Jターン

大阪→北海道を経て鈴鹿へ

■どんな仕事？

日本酒の製造を行う蔵人という立場で働いています。日本酒造りでなじみのある麹造りや、お酒の仕込みはもちろん、洗米やお酒を搾るための準備など、さまざまな工程があります。香り豊かで、味わいが優しく、透明感のあるきれいなお酒を目指して、多くの人に喜んでもらえるお酒を造るために日々頑張っています。



いせ ともこ
伊勢 智子 さん
清水清三郎商店勤務

■鈴鹿で働くきっかけは？

大学生のときに日本酒が好きになり、酒蔵で働いてみたいと思うようになりました。学生向けの就職サイトに登録して酒造会社を探していたところ、この会社を見つけました。

■鈴鹿に住んでみて感じたことは？

近鉄の駅が近くにあることで、名古屋や大阪へのアクセスが良いです。また、大型ショッピングモールが近くにあり便利です。特に、夜は田んぼからカエルの鳴き声がするなど、とてもどかなところだと感じています。



鈴鹿de仕事を探す

+住むところ・お出かけするところも

お仕事情報サイト 鈴鹿deはたらこっ!

市内の求人情報を幅広く掲載しており、企業の特徴や求める人材などから、あなたに合った企業を探すことができます。

鈴鹿市お仕事情報サイト
鈴鹿deはたらこっ!



LINE公式アカウント 鈴鹿市お仕事ナビ

友だち登録をするだけで、イベントの開催情報や、就職セミナー情報、新規求人情報など、就職に役立つ情報が届きますので、ぜひご登録ください。

LINE 公式アカウント
「鈴鹿市お仕事ナビ」



移住・定住

空き家バンクや、補助金・移住支援金制度などで移住のお手伝いをしています。詳しくは市の移住・定住ポータルサイトをご覧ください。

移住・定住
ポータルサイト



子育て・お出かけ スポット

子育て情報誌を発行し、引っ越して来た方も安心して子育てできる環境を作っています。お出かけスポットも掲載しています。



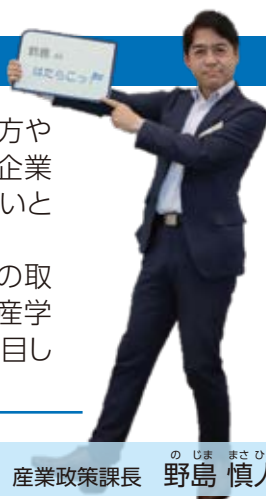
市ウェブサイト
子育て・教育



市内には、皆さんから愛される企業がたくさんあります。鈴鹿で生まれ育ち、学んだ若い方や保護者様など、たくさんの方に市内企業の良さを知ってほしいと思っています。また、市内企業へUIJターン就職を希望する方に、納得できる進路選択をしてもらえるよう支援していきたいと考えています。

持続可能な地域経済の実現と地域の活性化を目指して、より一層効果的な雇用対策への取り組みを進めていくため、「鈴鹿deはたらこっ!プロジェクト」を企画し、キックオフしました。産学官や関係機関と連携して「チーム鈴鹿」で取り組んでまいりますので、本市の雇用対策に注目してください。

今回の特集に関するご意見・ご感想は産業政策課へ
☎382-8698 📠382-0304 ✉sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp



産業政策課長 野島 慎人